



JPI催しのご案内

2025
11

公益社団法人日本包装技術協会

— 2025年度の本催しについて —

2025年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日 時 ①令和7年11月10日(月) 14:00～15:30

②令和7年11月19日(水) 14:00～15:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料／一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名

①令和7年11月10日(月) 14:00～15:30 JPI本部主催

【テーマ】国内外動向と包装材料のTOPPANの取り組み —モノマテリアル、リサイクルなど—

各国各地域で、持続可能な社会の実現に向けてさまざまな指針や政策が打ち出されています。日本においても今年改正された資源有効利用促進法による再生材利用の義務化など、さまざまな規制が広がっています。国内外の規制に対応するため、TOPPANでは包装材料の脱アルミ化、紙化、モノマテリアル化や、リサイクルなどを進めています。今回の講演では、TOPPANのサステナブルな取り組みについてご紹介させていただきます。

【講 師】 TOPPAN株式会社 生活・産業事業本部 SX推進センターSXパッケージ開発本部 包材開発1部2チーム 藤 村 香往里 氏

②令和7年11月19日(水) 14:00～15:30 JPI本部主催

【テーマ】包装で改善する物流問題とDFLの重要性、輸送包装の世界では

輸送包装の世界で今考えるべきことは何か。働き方改革から物流問題がクローズアップされ様々な改善が物流現場で行われています。工業包装の世界ではどうなっているか、物流問題の再認識と包装設計で解決するためにはDFLの導入が必要不可欠です。設計手法を事例含め紹介します。

【講 師】 株式会社東北ウエノ 設計開発部 課長 佐々木 幸 子 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までにお願ひします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関わる資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用したオンライン講演会（ウェビナー）です。
- ・お申し込みは、当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページよりお願い致します。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に招待メールをお送りします。メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールを送付できませんのでご注意ください。
- ・招待メールにて 参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項をお知らせしますので、ご確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・※ご利用のメールアドレスの環境・設定によっては迷惑メールに振り分けられる場合がございますので、ご注意下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1名しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：坂本 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

第306回見学会

ヤマト運輸株式会社 宮城ベース

主催：公益社団法人日本包装技術協会 東北支部・日本包装管理士会 東北支部

■開催概要

日時：2025年11月7日(金) 13:00～16:00 (予定)

【見学先概要】

『ヤマト運輸株式会社 宮城ベース』 宮城県仙台市泉区明通3-3-1

敷地面積：64,817㎡ (19,607坪)

構造：ターミナル棟・倉庫2階・事務所4階 物流棟：倉庫2階・事務所2階

【施設特徴】

1) 東北地域の中核施設としての中継・集約機能

東北自動車道「泉IC」より約2.5km、仙台駅から約10kmと交通アクセスに優れ、関東と東北・北海道を結ぶ中継・集約の拠点として最適な立地です。また、地震や水害の発生リスクが極めて低く、BCP（事業継続計画）の観点でも優れています。東北最大の仕分け機能を有し、宮城県内のみならず東北地域全体の荷物の集約することでより効率的なネットワークを実現しています。

2) 大規模保冷施設

全国屈指の取扱量であるクール宅急便に対応する最新自動仕分け機を導入しています。150坪の冷蔵・冷凍倉庫を併設することで、水産加工品や農産物などの保管・発送に柔軟に対応します。冷蔵タイプは0℃～10℃、冷凍タイプは-15℃以下の温度帯に対応し、自動仕分けにより鮮度を保ったまま荷物の通過情報も入ります。クール商品の取扱量が最大となる12月においては1日最大100千個のクール宅急便を扱います。

■集合場所：現地集合（市営地下鉄南北線「泉中央駅」からタクシーで10分）

■参加費：(公社)日本包装技術協会会員 日本包装管理士会会員 無料

■定員：10名 ※同業者もしくはその関連企業の方は本見学会の参加をお断りする場合がございます。

■参加申し込み方法

お申し込みは(公社)日本包装技術協会ホームページにアクセスし、東北支部のページよりご登録の手続きをお願いします。

参加申込者には追って参加証をお送りします

※参加申込ページ：<https://www.jpi.or.jp/shibu/touhoku/index.html>

interpack 2026 包装視察団派遣のご案内



(公社)日本包装技術協会では、2026年5月ドイツ・デュッセルドルフにて開催されるインターパックに包装視察団を派遣します。

- ツアー日程：2026年5月7日(木)～13日(水)
- 最少催行人数30名、最大40名程度(先着順)
- 添乗員が同行します。
- ルフトハンザ・ドイツ航空利用(エコノミー)
- ホテルは1人1室のシングルルーム確約。

- ◆ 国内外の包装業界に精通した包装エキスパートが2名同行。展示会の視察アドバイス、Q&A、視察後の総括レポート共有あり。
- ◆ メッセ・デュッセルドルフ社(インターパック主催者)ご協力のもと、出展企業による説明付きのブースツアー実施(日本語通訳付)。
- ◆ 団員同士の親睦を深める交流夕食会、大型商業施設(スーパーマーケット含む)視察あり。
- ◆ 渡航前に顔合わせを兼ねた事前説明会を開催。展示会の見どころ資料を配布。
- ◆ 現地3日間はホテルと会場間を往復専用バスで送迎。
- * 5月8日開催予定WPOワールドスター表彰式に参加可能(終了後、ホテルまでバスにてお送りします)
- * 現在企画中のイベントを含む詳細は、11月下旬頃、当協会メルマガ、公式HPにてご案内予定。
- 担当：国際事業本部 秋枝 pack@jpi.or.jp 旅行手配：名鉄観光

申し込み開始予定
12月上旬

【Interpack 2026のご案内】

会期：2026年5月7日(木)～13日(水)

会場：デュッセルドルフ見本市会場

interpackは、食品・飲料、パン・菓子、化粧品・医薬品加工・包装機械、非食品・工業製品向けソリューション、さらには包装資材、包材加工機械などの最新製品・技術が発信される、世界最高峰の加工・包装産業メッセです。前回のinterpack 2023には、世界60か国・地域から2,700を超える企業が出展、来場数は142,000を数えました。3年に1回しか開催されない貴重な機会、未来のパッケージングを“体感”できるinterpackを、ぜひご視察ください！

ご来場に関するお問い合わせ：株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン mdj@messe-dus.co.jp
interpack:<https://interpack.messe-dus.co.jp/visitors/basic-facts>